



2025 年 12 月 1 日

各 位

会 社 名 アルフレッサ ホールディングス株式会社  
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 荒川 隆治  
(コード番号2784 東証プライム)  
問 合 せ 先 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 羽野 和明  
(TEL: 03-5219-5102)

## 医薬品等製造事業を行うアルフレッサ ファーマ株式会社が カーボンニュートラルの実現に向けて太陽光発電設備を増設

当社の子会社で医薬品等製造事業を行うアルフレッサ ファーマ株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役 社長執行役員:荒木勝利、以下「アルフレッサ ファーマ」)は、医薬品等の製造を行う岡山製薬工場において、太陽光発電設備を増設し、2025年12月より稼働を開始いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 背景と目的

アルフレッサグループは、「25-27 中期経営計画 Vision2032 Stage2 ～総合力で未来を切り拓く～」※1のグループ経営方針の1つとして「サステナビリティ経営の推進」を掲げ、8項目のサステナビリティ重要課題に取り組んでおります。環境分野の重要課題「地球環境保全」においては、気候変動に関連する重要指標の一つであるCO<sub>2</sub>排出量について、2050年度のCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロのカーボンニュートラルの実現に向けたマイルストーンを設定し、2030年度末までに2020年度比30%の削減を目指した取り組みを進めております。

太陽光発電設備を増設したアルフレッサ ファーマの岡山製薬工場は、岡山県勝田郡勝央町に位置し、最新鋭の設備と最先端技術を備えた医薬品・診断薬の生産拠点です。固形剤・液剤の製造から包装まで幅広く対応し、GMP※2基準やISO認証に準拠した※3高品質な製品を安定供給しております。アルフレッサ ファーマは、岡山製薬工場において、太陽光発電設備の導入(パネル数:1,885枚、パネル出力1,027.3kW)、LNG(液化天然ガス)の活用、事業所内のLED照明の採用など、CO<sub>2</sub>排出量削減に向けた取り組みを推進し、2020年度に比べて2024年度は1,186t-CO<sub>2</sub>減少させております※4。さらに今回、新たに792枚(パネル出力467.2kW)の太陽光パネルを設置したことで、追加で229t-CO<sub>2</sub>/年の削減が見込めます。

アルフレッサ ファーマは、CO<sub>2</sub> 排出量削減への取り組みをはじめ、環境に配慮した事業活動をさらに強化し、持続可能な社会の実現へ貢献してまいります。

※1 ご参考:2025 年 5 月 15 日発表

「25-27 中期経営計画 Vision2032 Stage2 ～総合力で未来を切り拓く～」策定のお知らせ

[https://ssl4.eir-parts.net/doc/2784/ir\\_material15/250636/00.pdf](https://ssl4.eir-parts.net/doc/2784/ir_material15/250636/00.pdf)

※2 GMP(Good Manufacturing Practice):医薬品等の製造管理および品質管理の基準

※3 アルフレッサ ファーマは、本社、岡山製薬工場、茨木リサーチセンター、千葉工場において、医療機器における品質マネジメントシステムに関する国際規格 ISO13485 の認証を取得しております

※4 CO<sub>2</sub> 排出量削減に向けた取り組み

- ・太陽光発電設備の設置
- ・LNG(液化天然ガス)サテライトへの参画(石炭や石油と比べて CO<sub>2</sub> 排出量が大幅に少ない LNG 活用)
- ・事業所内照明の LED 化
- ・営業車両のハイブリット車への切り替え
- ・環境に配慮した文房具・コピー用紙への切り替え
- ・FSC(森林管理協議会)認証取得資材や再生可能な生物由来の有機資源を原料としたバイオマス素材の使用
- ・リサイクル可能な素材の使用
- ・使用済み製品や廃棄物を再資源化し、再利用するマテリアルリサイクル化
- ・製品へのリサイクルマークの表示 など

＜建物上部と工場敷地内に太陽光発電設備を増設した岡山製薬工場＞

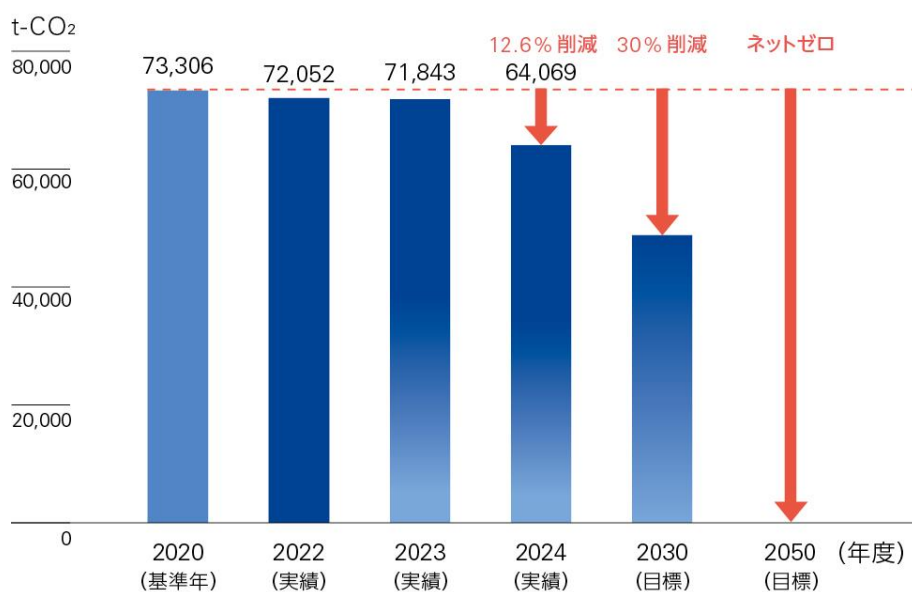


【ご参考】

■アルフレッサグループのCO<sub>2</sub>排出量削減に向けた取り組みについて

アルフレッサグループは、気候変動に関連する重要指標の一つであるCO<sub>2</sub>排出量について、2050年度にCO<sub>2</sub>排出量ネットゼロの目標を設定しており、そのマイルストーンとして2020年度のScope1+2におけるCO<sub>2</sub>排出量を基準として、2024年度末までに10%、2030年度末までに30%の削減を目指しています。2021年度以降、新たに連結した会社を除いた2024年度のScope1+2におけるCO<sub>2</sub>排出量は64,069t-CO<sub>2</sub>で、2020年度比87.4%となり、2024年度の削減目標である10%を上回る12.6%の削減を達成しております。

CO<sub>2</sub>排出量 (Scope1,2)



以上